

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ADEKA

コード番号 4401 URL <http://www.adeka.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 郡 昭夫

問合せ先責任者 (役職名) 法務・広報部長

(氏名) 武富 順二

TEL 03-4455-2803

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	45,083	10.4	2,486	12.3	2,536	10.9	1,528	13.6
24年3月期第1四半期	40,829	△2.8	2,214	△36.1	2,286	△33.6	1,344	△38.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,873百万円 (22.0%) 24年3月期第1四半期 1,535百万円 (△26.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	14.79	—
24年3月期第1四半期	13.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	216,821	129,500	58.0
24年3月期	210,766	128,600	59.4

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 125,766百万円 24年3月期 125,249百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	90,000	5.3	5,800	33.7	5,500	36.8	3,200	62.2	30.98
通期	187,000	9.5	12,000	43.8	12,000	39.1	7,000	84.3	67.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料、P.3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項「(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	103,651,442 株	24年3月期	103,651,442 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	362,963 株	24年3月期	362,884 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	103,288,497 株	24年3月期1Q	103,288,828 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から同年6月30日)における世界経済は、米国経済に持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題の深刻化や、中国ならびに新興国経済の減速などを受け、全体的には景気回復力の弱い状態が続きました。国内では、東日本大震災からの復興需要やエコカー補助金などの政策効果により緩やかな回復基調にあるものの、長引く円高などの影響から依然として先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ事業の主要対象分野である自動車関連分野では、米国の買い替え需要や国内のエコカー補助金制度の効果などがあり好調でした。IT・デジタル家電分野では、スマートフォンやタブレット端末の需要は好調でしたが、薄型テレビは需要低迷からの回復が鈍く低調でした。食品分野の加工油脂関連は、製パン・製菓向けなど、安定した需要により概ね前年同期並みでした。

このような状況のなか、当社グループは、2012(平成24)年度からスタートした中期経営計画「STEP 3000」の基本方針に基づき、自動車関連分野などで需要拡大の見込めるブラジルへの進出決定や、米国において塩化ビニル樹脂用の安定剤事業の買収などを実行し、海外事業の拡大・強化を推し進めてまいりました。また、浦和(埼玉県)にある樹脂添加剤開発研究所は6月に新研究棟が完成し、海外展開が加速する中、グローバルテクニカルセンターとして高機能製品や環境対応型製品などを効率的に研究開発できる体制を構築しました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は450億83百万円(前年同期比10.4%増)、営業利益は24億86百万円(同12.3%増)、経常利益は25億36百万円(同10.9%増)、四半期純利益は15億28百万円(同13.6%増)となりました。

報告セグメント別の概況は次のとおりです。

(化学品事業)

当事業の売上高は、310億9百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は20億37百万円(同20.3%減)となりました。

①情報・電子化学品

半導体材料は、スマートフォンなどの高機能端末の拡大を背景に、最先端の半導体メモリなどに使われる高誘電材料やフォトレジストに使用される特殊材料などの競争力の高い独自製品が伸長しました。フラットパネルディスプレイ用薬液などの各種材料は、液晶パネル関連の需要低迷の影響を受け低調でした。パッケージ基板向けなどのエッチング薬液は、電子関連機器の高性能化に伴い伸長しました。

情報・電子化学品全体では、前年同期に比べ増収となりましたが、価格競争などの影響を受けわずかながら減益となりました。

②機能化学品

樹脂添加剤は、自動車生産の復調や住宅関連が回復傾向にあったことから、高機能製品の光安定剤や可塑剤などの各種添加剤が国内、海外ともに堅調でした。界面活性剤は、海外向け化粧品材料が伸長しましたが国内需要の低迷などの影響を受けました。潤滑剤は、自動車生産の回復および海外を中心とした新規顧客の開拓により回復しました。水系樹脂は、低調であった国内需要の影響を受けました。

機能化学品全体では、前年同期に比べ増収となりましたが、原材料価格上昇の影響を受け減益となりました。

③基礎化学品

プロピレングリコール類などは需要が減少し低調でした。過酸化水素およびその誘導品は、震災の影響による需要減少は改善され回復基調ではありましたが、紙・パルプなどの市況低迷の影響を受けました。

基礎化学品全体では、前年同期に比べ増収となりましたが、原材料価格上昇の影響を受け減益となりました。

(食品事業)

当事業の売上高は、130億73百万円（前年同期比27.9%増）、営業利益は3億58百万円（同7億66百万円増）となりました。

業務用マーガリンなどの加工油脂やホイップクリームなどの加工食品は、販売拡大ならびにコスト削減などに取り組み、震災の影響で落ち込んだ業績を大きく回復しました。加えて、「バター風味豊かなマーガリン」などの特徴ある製品の販売が製パン・洋菓子向けに好調に推移し、前年同期に比べ増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債および純資産の状況

総資産につきましては、前期末に比べ60億54百万円増加（前期比2.9%増）し、2,168億21百万円となりました。投資有価証券の減少を上回る現金及び預金、有価証券、たな卸資産および建設仮勘定の増加が主な要因であります。

負債につきましては、前期末に比べ51億55百万円増加（同6.3%増）し、873億21百万円となりました。1年内返済予定の長期借入金の減少を上回る仕入債務、短期借入金および長期借入金の増加が主な要因であります。

純資産につきましては、前期末に比べ8億99百万円増加（同0.7%増）し、1,295億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月10日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,901	27,554
受取手形及び売掛金	40,306	40,843
有価証券	7,129	8,133
商品及び製品	14,517	14,947
仕掛品	3,941	4,392
原材料及び貯蔵品	13,212	13,448
その他	6,218	6,699
貸倒引当金	△218	△232
流動資産合計	110,009	115,785
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,575	18,806
機械装置及び運搬具（純額）	21,718	21,882
土地	20,423	20,468
その他（純額）	7,865	9,250
有形固定資産合計	68,582	70,408
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	23,023	21,170
その他	5,913	6,328
投資その他の資産合計	28,937	27,498
固定資産合計	100,757	101,036
資産合計	210,766	216,821

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,170	35,282
短期借入金	13,060	14,142
未払法人税等	1,452	968
賞与引当金	1,924	2,561
その他の引当金	39	10
その他	11,172	6,971
流動負債合計	60,820	59,936
固定負債		
長期借入金	4,938	10,826
退職給付引当金	8,869	9,052
その他の引当金	124	77
その他	7,413	7,429
固定負債合計	21,345	27,385
負債合計	82,166	87,321
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,899	22,899
資本剰余金	19,925	19,925
利益剰余金	80,225	80,615
自己株式	△224	△224
株主資本合計	122,826	123,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	984	295
土地再評価差額金	3,791	3,791
為替換算調整勘定	△2,353	△1,537
その他の包括利益累計額合計	2,422	2,549
少数株主持分	3,351	3,734
純資産合計	128,600	129,500
負債純資産合計	210,766	216,821

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	40,829	45,083
売上原価	31,866	35,562
売上総利益	8,963	9,520
販売費及び一般管理費	6,748	7,034
営業利益	2,214	2,486
営業外収益		
受取利息	23	25
受取配当金	131	113
持分法による投資利益	77	31
その他	77	81
営業外収益合計	310	252
営業外費用		
支払利息	89	98
その他	148	104
営業外費用合計	238	202
経常利益	2,286	2,536
特別損失		
有形固定資産除却損	76	36
投資有価証券評価損	—	258
災害による損失	272	—
特別損失合計	349	295
税金等調整前四半期純利益	1,936	2,241
法人税、住民税及び事業税	730	899
法人税等調整額	△210	△227
法人税等合計	519	671
少数株主損益調整前四半期純利益	1,416	1,569
少数株主利益	71	41
四半期純利益	1,344	1,528

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,416	1,569
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△345	△663
為替換算調整勘定	466	993
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△25
その他の包括利益合計	118	304
四半期包括利益	1,535	1,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,408	1,655
少数株主に係る四半期包括利益	126	218

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

- I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	29,816	10,218	40,035	794	40,829	—	40,829
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	63	12	75	2,567	2,643	△2,643	—
計	29,879	10,230	40,110	3,361	43,472	△2,643	40,829
セグメント利益 (損失)	2,554	△408	2,146	49	2,196	18	2,214

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額18百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	化学品	食 品	計				
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	31,009	13,073	44,082	1,001	45,083	—	45,083
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	197	18	216	2,573	2,789	△2,789	—
計	31,206	13,092	44,299	3,574	47,873	△2,789	45,083
セグメント利益	2,037	358	2,395	93	2,489	△2	2,486

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、工事および工事管理、物流業、不動産業などを含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額を含んでおります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。